

芋井地区住民自治協議会だより

発行者 芋井地区住民自治協議会
第4号 平成21年12月 1日発行

芋井中学校の統合について(お知らせ)

近年の少子高齢化及び過疎化の進行により、芋井中学校の生徒が急激に減少し、平成24年度又は25年度から2学級又は複式学級となる恐れがあります。2学級又は複式学級になると、先生の配置が減少し専科の先生が更に確保できなくなり、十分な教育を受けることができなくなることが想定されます。また、現状においても生徒が少ないことから限られた部活動しかできず、子どもたちの心身の発達にも課題となっています。

この度、芋井小中学校PTAでは、現状の課題を解消するため、芋井中学校の統合について一定の方針を出しました。当協議会では、中学校の現状とPTAの方針を受け、地区の皆様のご意見をお聞きしながら、閉校と統合の可否を判断して参りたいと思っております。

芋井中学校の現状と、これまでの経過をお知らせしますので、ご理解ご協力を賜り、ご意見をお寄せいただきますようお願いいたします。

生徒数の変化と喫緊の問題点について

【生徒数の変化予想】

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
1年	8人	9人	12人	1人	3人	4人
2年	6人	8人	9人	12人	1人	3人
3年	7人	6人	8人	9人	12人	1人
合計	21人	23人	29人	22人	16人	8人

※21年度の芋井小学校在籍児童がそのまま芋井中学校へ進学したと仮定

【学級編成と教員の配当】

◆24年度入学生が1人の場合


24年度は3学級編成⇒教員7名(現状維持)

25年度は2学級編成⇒教員4名(1年と2年で複式学級)

26年度は " "

◆24年度入学生が0人の場合

24年度は2学級編成⇒教員4名



25年度は2学級編成⇒教員4名
26年度は1学級編成⇒教員1名

これまでの経過について

- ◆平成21年 3月 芋井小中学校PTAが生徒減少に伴う対応について検討を始める。
- ◆平成21年 7月 住民自治協議会が芋井中学校生徒減少問題を考える集いを開催しPTA外関係12団体が参加。PTAから芋井中学校の現状について報告。今後の対応について協議し、次回市教委の出席を求めることとした。
- ◆平成21年 9月 第2回芋井中学校生徒減少問題を考える集いを開催。統合を仮定した場合の統合方法、時期、遠距離通学制度等について市教委から説明を受け、PTAとしての方針を出すこととした。
- ◆平成21年11月 PTA臨時総会が開催され、23年度をもって閉校し24年度から西部中学校と統合したい旨方針が決定される。
- ◆平成21年11月 理事区長を加えた芋井中学校生徒減少問題を考える会を開催。PTAから統合へ向けて方針が報告された。会では、PTAの方針は尊重するも山村留学、小中一貫校の導入などもっと前向きな検討はできないかとの意見があり、一方現実的には生徒の確保は困難であり、中学校の現状を見れば早急な対応が必要であるとの意見も出された。
今後、住民に現状と経過、PTAの方針を周知し意見を求め、住民自治協議会で地区の方針を決定することとした。

今後の予定について

- ◆12月10日 芋井地区連合区長会開催。
芋井中学校の統合について説明。
 - ◆12月11日
～1月8日 各区の意見集約(各区長)
 - ◆1月18日 芋井住民自治協議会臨時総会開催。
芋井中学校の閉校と統合の可否を決定。
- 